

増加分はほとんど小平～東村山間 6市間全体では増えていない！

図表3は、東京都が図表1の根拠としている「OD（発着）表」です。H.17年度のOD調査では、都内全域の自動車の登録台数約389万台のうち、アンケートに回答したのは14,515台。これを統計的に拡大処理したOD表が、どれだけ真実を表していると言えるのかが、まず疑問です。※2

図表3は、平成11年と17年に行われたOD調査の結果を比較し、台数/日の変化を示したものです。これを見ると、H.11年から17年の間に、6市間全体で合計5,358台/日増えていることがわかり

ます。平成11年の計62,000台/日に対して、約5,358台/日の増加で、「8%増」となります（※図表1参照）。

しかし、その中身をよく見ると、増加分のほとんどは、小平市・東村山市間の発着で占められていることがわかります。その他は、多摩市・町田市間がいくらか増えていますが、小平市・国分寺市間や、国分寺市・府中市間などは、逆に減っています。

つまり、OD表の数字が正しいとしても、「6市間」の増加とは、実は、ほとんどが小平市・東村山市間の増加を示しており、このデータから町田市から東村山市まで貫通する「南北交通」の増加という結論を導き出すことには無理があります。

図表3 東村山から町田の6市間のトリップ数の変化（H.11～H.17）

発着	東村山	小平	国分寺	府中	多摩	町田	合計
東村山		4,885	482	102	-251	0	5,218
小平	5,630		-1,307	-10	184	1	4,498
国分寺	796	-2,368		-2,446	-168	170	-4,016
府中	187	397	-2,022		563	-1,053	-1,928
多摩	-218	323	467	-304		1,664	1,932
町田	0	-84	457	-1,080	361		-346
合計	6,395	3,153	-1,923	-3,738	689	782	5,358

※2 OD表とは、自動車所有者の一部を抽出し、ある期間に自動車をどこから（発、Origin=O）どこまで（着、Destination=D）運転したかを尋ねるアンケートを実施し、それを統計的に拡大処理したものです。「OD調査は…サンプルデータを母集団に復元する…拡大処理…のため、多重クロス集計などでは…統計的精度が十分に得られない場合もある」と、「東京都の自動車交通の実態-平成17年度自動車起終点調査より-」（H.21.2）に書かれています。

出典：東京都建設局道路建設部「東京都の自動車交通の実態」平成14年7月、平成21年2月発行

図表5 3・2・8号府中所沢線の位置と東京都による「計画」交通量

